

神戸ハイカラ文化 今、その原点の復権を。

■ 座談会出席者（敬称略）

石阪 春生 △洋画家▽

長澤 昭 △大丸・常務取締役神戸店長▽

佐藤 廉 △元町画廊・画廊主▽

今年1月の南京街の春節祭に始まり、3月の大丸全館改装、そして4月にはメリケンパークがオープンするなど、開港100年ということもあってか、このころ大丸前元町界隈が神戸の中でも特に活況を呈しています。

もともとこの界隈は神戸的なハイカラ文化の発祥の地でもあるわけですが、昨今の再開発の動きの中でもう一度その「原点」を見直そうという気運も起っています。

そこで今回のキャンペーン座談会は、この界隈で活躍されている方々にお集り頂き、今後のこの地域に必要なブランドデザインについてお話し頂きました。



石阪 春生 さん

下村 光治 △神戸風月堂・社長▽

島田 光夫 △働くるや衣裳店・社長▽

五熊 健二 △レストラン花扇・社長▽

大丸前・元町界隈はハイカラ神戸の原点

—— 開港100年の今年は大丸の大改装やメリケンパークのオープンなど、大丸前・元町界隈もずい分話題の多い年なんです。今日は神戸のモダンズムを支えてきたこの界隈の原点を見直しながら、さらに発展させるためのグッドアイデアを出して頂きたいと思います。

実は「月刊神戸っ子」の前身は「元町」という名です。私共にとってもこの界隈はふるさとなんです。その意味でも今後も継続してこのテーマを取り上げていきたいと思えます。そして長期的な視点に立ってこの界隈のブランドデザインを模索していきたいと思えます。

まず最初に、この界隈のショッピングゾーンとしての特質などについてお聞きしたいと思うんですが。

石阪 私の家は兵庫で3代続いているんですが、幼い頃の記憶といえば東の方は大丸までしか覚えてないです



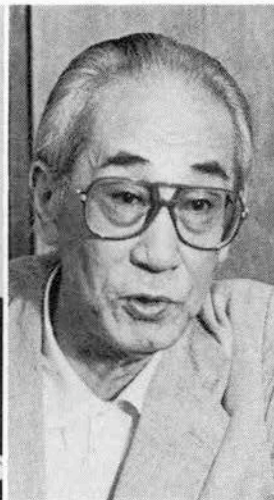
五熊 健二 さん



島田 光夫 さん



下村 光治 さん



佐藤 廉 さん



長澤 昭 さん

ね。そこから向こうは記憶にない。やはり当時はその辺が神戸の中心だったんでしょね。そういえば、古い大丸が元町にあった頃も覚えてますよ。

佐藤 それはすい分古い話ですね。実はそれは、当時西尾さんという人の店を大丸が買い受けたものなんですよ。

昔は元町がハイカラの中心でしたから、ハイカラのしりの店がたくさんあった。それが戦争でパツと散っちゃったんです。今は北野がいばってますがもとは元町なんですよ。ファッションにしても神戸をよく知っている人は、今でも元町の店に絶対の信頼をおいてますね。

石阪 幼い頃の記憶では、神戸の中心地は三宮界隈、元町界隈、居留地界隈の3つのゾーンが印象的ですね。

佐藤 最近では、新幹線の駅前はこの街も同じ風景になっていると言われますが、神戸もセンター街より東はこの傾向にありますね。せめて元町だけでも外の人から「ここはやっぱり違う」と思われるようにしたい。

下村 うちも今年で90年目になりますが、最近思うのは週末や休日と平日の客数の差がだんだん激しくなっていることなんです。休日はあふれるぐらい来るけど平日は全然でしょ。でも休日でも限界はあるんです。つまり駐車場の限界なんです。今のお客さんはほとんどが車ですからね。まさか電車で来いとは言えないしね(笑)。せめて土、日、祝日だけでも簡単に車が置けるような体制づくりが必要だと思う。

それから今考えているのは、例えば元町でもメインストリートだけじゃ限界がありますから、もっと路地裏も利用できないかということなんです。路地裏大作戦”って言いますか(笑)、路地裏でも工夫次第でけっこう人は集まると思う。

佐藤 そう言えば最近ではエイズの影響でしょうか、外人パーもすい分減っていい店が入るようになってますよ。それはいい考えですね。『風月堂横丁』とかね(笑)。

下村 まあ、南京街が頑張ってますからおこぼれもあるでしょうしね(笑)。

—— 大丸は素晴らしいカーポートを作りましたね。

長澤 500台ぐらいいれるんですが、それでも土、日は一杯です。路上パーキングをすると車の流動が悪くなるし、絶対に駐車場は必要ですよ。

現在の都市というのは機能性よりもショーの要素が強くなってますから、人を集めることがポイントなんです。ですからアクセスの問題は重要です。今ざっと見積っても大丸前だけで二千台は必要だと思う。

—— 大丸は南館で出来て、「新しいのに懐かしい」と新旧の両方で行ってらっしゃいますね。

長澤 今の元町はあまり懐かしくありませんがね(笑)。でも懐かしいだけじゃだめですよ。都市は変移していくべきです。本通りだけじゃなく裏通りも大切にしながらね。大阪は裏通りを生かすのが実にうまい。心斎橋などは、アメリカカ村という裏通りばかりがはやって本通りがさびれてるぐらいですからね(笑)。そういうふうを表と裏で厚みをつけていくんですよ。

一つ心配に思うのは、最近元町などはビジネスニーズが少なくなってきたて事務所がみんなボーアイや大阪に行っちゃうでしょ。そうすると空いた所に地上げ屋とか変なが入ってくる危険があるんですよ。これはちよつと考えないといけない。

五熊 私は南京街という元町の裏通りで頑張っているんです(笑)。南京街も春節祭は大成功だったんですが、祭りはあくまで一過性のものですからね。これをきつかけにしてお客さんに南京街のファンになってもらうことが大事なんです。南京街の「味」、「安さ」そして「中華風のムード」をいかに知ってもらうかですね。イベントだけにたよってちゃいけない。

長澤 地上げ屋の問題は深刻ですよ。街がよくなっているのはだいたい地価が安い時ですからね。いい店が入って欲しいと思って地価が高ければ入ってこれない。受け入れるためにはまず基盤整備が必要ですよ。

—— 居留地限界もあまり地価が安い安いと書くのは問

題ですよ。

長澤 バリやニューヨークでは一階が店舗で上が事務所になっている建物がたくさんある。居留地ならそれができるんじゃないかな。道が広いから駐車場も作れるし。

島田 駐車場も必要ですが、車から降りてからどう街を回ってもらうか、その回廊作りも必要ですね。それを辿ると何か面白いものに巡り合えるという工夫をしたい。

佐藤 私は毎夜犬を連れて居留地のあたりを散歩するんですが、夜歩くと実にきれいですね。「神戸港を考える会」でも最近いろいろ古い建物を掘り起こしているようですが、それと開発がタイアップしてやっっていくべきです。しっかり歯止めをして古いものを守っていく、そこから新しいものが生まれてくる。温故知新ですよ。それも元町だけじゃなく、トアロードやセンター街とも協力してやっっていくべきです。

長澤 連携プレーも必要ですが、あまり合理的につきなぎ合わせるとう面白くない。それぞれのスポットが競い合って個性を出していくべきだと思う。

佐藤 私が言うのは、それぞれの個性を見てもらうための工夫を街ぐるみでやろうということなんです。

—— 縦横両方の軸が必要ですね。

そこに住む人の暮らしが街を面白くする

石阪 ところで、栄町というのも面白いですよ。見ると居留地より凄いい建物がありますよ。最近建造物を見て楽しむのが流行しているようですが、ここにも一つの拠点ができるんじゃないかな。きつと店舗だけじゃなく、もつと文化的なもの、例えばコンサートホールや劇場なんかも利用できると思う。

島田 それはいい。賛成ですね。

石阪 建物の凄さももっと利用すべきですよ。栄町には異人館や居留地にはないものもある。これはりっぱな文化遺産です。

—— 同じ古い建物でもちよつと解説が加わると全然見

る目が違ってきましたね。

石阪 北海道の道庁の建物も凄いでしよう。あれなどは見栄えのする場所にあるから余計に立派に見えるんですが、栄町の建物も同じ価値がありますよ。

—— 神戸ほどそういうものが残っている街もないです石阪 まだまだたくさんあると思う。異人館だけを見て「ああ、こんなものか」で終わっちゃうのはもったいないですよ(笑)。

長澤 異人館は住居ですが、栄町のはビジネスのための空間ですからはるかに広いし迫力ありますよ。あれを使うのならただの店舗じゃなく、ショービジネス的なものをやらないとまったいない。ただ、古い建物を使うのは建築規準上のいろんな制約があって大変なんですよ。といって建て替えちゃ意味ないしね。痛し痒しですよ(笑)。

—— でもやらないとね。

佐藤 実は今日のために問題のポイントをメモしてきたんです。まず第一がバスターミナルや駐車場の問題、二番目が居留地の開発、三番目が文化的なものを近代的に生かすことなんです、だいたい今日の話でもこの3点

が中心になっているようです。

ところで、下村さんが風月堂ホールを作られたのはすごいことだと思ふ。今までの元町になかったことですからね。まあ、南京街も頑張っていることだし、注目がこっちへ向きかけている今こそ何かやるべきですよ。

長澤 何か面白いことをやりたいですね。アメリカ村なんかでもこの5、6年でずいぶん面白くなってきたんですが、要するに仕掛ける人間の頭次第なんです。今の若者たちはこっちが提供すべきものを提供してやれば面白いものを考えますよ。

下村 元町の飲食店などは昼間は満員ですが、夜になるとかなり早い時間に閉めちゃう。これはもったいないですよ。閉めるなら店の前のスペースを貸してやればいいと思うんです。

—— 元町は閉めるの早いですね。

下村 そうです。夜などもう誰もいない。うちも7、8時の売上げは2%程度ですよ。うちのホールで落語を聞いて、9時頃終わって帰りに何か食べて帰ろうと思っても、もうどこも空いていない。今は昼だけ商売しているようなもんです。せめて昼と夜と一日に2回使う通りにしないとね。

五熊 以前に連合会で、もっと遅くしようと提言したことがあったんですが、「誰が電気代とパート代を払うんだ」という声が出たりして話にならないんです。確かに最初は経費がかかるかも知れませんが、何年も続ければお客さんも覚えてくれてきつと売上げにつながると思う。

島田 神戸は遊ぶ場所とショッピングの場所が区切られているのが問題なんです。

五熊 元町の中だけで遊びも飲食も全て済んでしまうようにしてはどうでしょう。10、11時頃まで空いてね。

下村 そうするべきですよ。

長澤 大阪などでは、最近都心から離れたところにいろいろ面白いレストランができてますね。ほとんど若者向



けですが、いろいろアイデアを凝らしてますよ。そういう新しいニーズに合わせたものを、思い切ってどんどん持って来ればいいと思う。変な歓楽街になっちゃ困りますかね(笑)。

佐藤 そういうものならむしろ神戸の古い建物の方がオシャレでいいんじゃないですか。

長澤 そうです。誘致するべきです。

五熊 ただ神戸はあまり大きなレストランははやらないと言われますけどね。

長澤 でも夜なら大阪から神戸まで阪神高速ですぐですからね。外からもたくさん来ますよ。

—— フィッシュダンはそういう狙いですね。
長澤 それだけじゃ寂しい。

—— 最後に、今後こうしたいという希望はありますか。
佐藤 外から来る人はほとんどが車で来るわけですからやはり駐車場を整備することですね。そうすれば、大丸前元町界限大人の遊び場として定着してくるはずですよ。それから、この座談会を単なるこの場の話だけに終わらせないで、どんどん実行していくことです。役所の人も参加してもらってね(笑)。

島田 新しいものもいですが、伝統的な技術の積み重ねが親から子へ、そして孫へと受けつがれていくような専門店のよさが忘れられてきているように思う。資本力は小さくても積み重ねた技術は大きいという、昔ながらの神戸らしさ、神戸らしい店のよさも大事にしたいですね。

石阪 私事になりますが、ヨーロッパなどではローカルな無名作家の美術館があちこちにあるんです。日本には大作家の美術館しかないですが、向こうには小さな美術館もかなりたくさんある。そういう小さな空間を利用した無名作家の美術館を作りたいですね。神戸にはたくさんさんの画家がいますが、展示するスペースとなるとまだまだ少ない。特にローカルな作家の作品となると、どこに行けば見られるかわからないという声もよく耳にします

しね。

下村 私は家内に、老後は市場の横に住もうって言うてるんです。市場の横ならいつでも何でも新鮮なものを食べれる。冷蔵庫なんていらなくていい(笑)。でもこれはうちだけの話じゃなくて、街全体をそういう街にしたと思う。職任分離と言いますが、本当はおいしいものが食べれて快適に暮らせる街で仕事をして住むのが一番なんです。元町をそんな街にしたいですね。

長澤 それは基本的なことだと思う。同感ですね。最近都市が面白くなってきているというのは、結局住んでいる人が減ってきているからですよ。街の面白さというのは人の暮らして切り離せないと思います。私は今、仁川に住んでいるんですが、車を飛ばしても職場まで1時間にかかる。短い人生を考えると、この通勤時間は実にもったいない。もっと近くに住宅を作るべきだ。ハーバランドも全部住宅にすればいい。だんだん土地が高くなるから人が住めなくなり、店ばかりが増える。これは街の姿としてはよくないですよ。

—— 今まではなんとなく郊外に住むことがカッコよくて、街に住むことはカッコ悪いみたいなイメージがありました。まずこれを変えることですね。

下村 フランスではアラン・ドロンもイブ・モンタンも都会に住んでるんですからね(笑)。

長澤 儲けたいと思って来る人にロクな人はいないですが、いい人を連れてくることですね(笑)。

島田 住みやすい環境を作ることは、これからの高齢化の時代にますます必要ですね。

—— まず、カッコいい人を神戸に連れて来て住んでもらうこと。そして街のイメージをアップすることですね。
(神戸風月堂にて)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111



HISHIFAKA

キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上2社の提供によるものです。

TOWN

8月7日8日9日 サマー・イベント この息吹感じる 新開地かつき祭

★ワクワク、ドキドキ

この夏、新開地に注目!

新開地の活性化を願って、新開地周辺地区まちづくり協議会と新開地商店街連合会が8月7、8、9日の3日間、新開地かつき祭を開催。今年は大阪ガス神戸支社のあるガスビル50周年にもあたり、ガスビルも初めてイベントに参加することになった。さて、地域一体のこの祭りどんなプログラムかというところ……



淀川長治氏

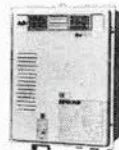
- 淀川長治講演会「ふるさと新開地を語る」／9日(日)午後6時～8時30分 於神戸東宝会館
- 「今、新開地を考える」パネルドイスカッション／7日(金)午後2時～4時 於神戸東宝会館
- アマチュア12グループによるロックライブコンサート／8日(土)午後2時30分～8時30分
- 伊勢功一・上平田裕子ジョイントコンサート／9日(日)午後3時～5時 於神戸東宝会館



去る5月に開かれたアマチュアロックコンサート

- 便座にまたがりタイムを競う便座レース／9日(日)午後2時～4時 於商店街
- 植木市・夜店・NTTもしもしコーナー他／7日(金)～9日(日) 於商店街
- 歴史・資料・写真展／7日(金)～9日(日) 於ガスビル2・4F
- 児童画展／7日(金)～9日(日) 於ガスビル4F
- 「ふれあいプラザ」チビッコ広場・チャリテイバザー・ガレッジセール／7日(金)・8日(土) 於ガスビル前

ほう、風呂釜も買くなったもんだ。
これに替えれば、
シャワーも使えて、
お風呂わかしまうラク。



ガス風呂釜(セントラル給湯機取付)
わくわく16(セミ自動)
31-054型(屋外設置タイプ)
現金標準価格 **195,000円**
寸法(φ)高さ700×幅480×奥行200

ガス風呂釜(セントラル給湯機取付)
わくわく16(ニュージェットフロー)
31-060型(屋外設置タイプ)
現金標準価格 **219,000円**
寸法(φ)高さ615×幅480×奥行236



詳しくは係員まで
お問い合わせ下さい

Day by Day—きっといい明日

大阪ガス

大阪ガス住宅設備



▲レトロが今風のガスビル ▶高富伸支社長

「新開地のガスビルが50年やて。」
 と言えば、神戸市民にはピンと来るだろう。数々の企業が他所へ移り、大阪ガス神戸支社だけが50年の歴史あるこのビルに残った。昭和12年7月31日竣工、9月13日営業開始。兵庫ガス・神戸ガス・大阪ガスとその名を変えて、
 新開地の南入口にドッシリ



●ガスビルは、皆に愛され50年



高寄昇三氏



高田 昇氏

★「今、新開地を考える」
 パネルディスカッション開催
 大阪ガス神戸支社がガスビル50周年を記念して開く。パネラーは

甲南大学の高寄昇三、COM計画研究所代表の高田昇、榎大平常務取締役の平井康祐、いるか設計集団代表取締役の有村桂子、大阪ガスエネルギー文化研究所所長の倉光弘己各氏。魅力ある新開地を目ざして、各方面からの意見を述べよう。

とその身を横たえ、変貌を見守ってきた。戦火に耐え、ガスビルの愛称で、市民に親しまれて来たのである。

大阪ガスと各家庭とは直接パイプで結ばれている。普段何気なく使用しているガスだが、考えてみるとスゴイ！その数は神戸市内だけで、現在何と約58万戸。「私達の会社は市民の皆様、お客様に育てられた会社なのです。明るいディスプレイや料理教室など、皆様に親んでいただいておりますが、50周年を契機に、なお一層地域とのつながりを深めて行きたいと考えています。」と、高富伸支社長は、21世紀に向けての抱負を語った。

大阪ガス神戸支社は、数年後に社屋をハーバランドに移すが、ガスビルはそのまま残り、新開地の一つのシンボルとして、有効利用が考えられている。

なるほど息子が喜びそうだ。
 これなら冬でも、勢いのあるシャワーが
 楽しめるらしい。

スライドパネルで、冬でも元気なシャワー。



スライドパネルを
 上げた場合



新発売

スコールシャワー (ヘッド・ホースのみ)

現金標準価格8,200円

※アイボリー・レジンブルーの2色あります。
 ※取組品の動力及び水圧に応じて、かわりタイプ・標準タイプがあります。

ヨシ、月々5,000円。
 タバコをへらせばシャワーがつく。
 もちろん、お湯もふんだんに使える。

おすすめシャワープラン約24万円

ガス湯沸器(セントラルタイプ)

わくわく16(うす型)

33-890型(屋外設置タイプ)

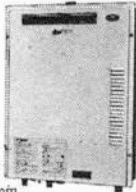
寸法(幅×高さ×奥行)515×680×奥行57



シャワーコントローラ

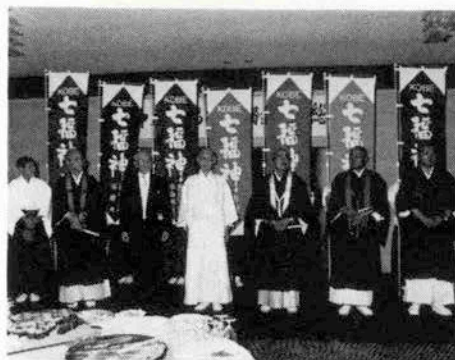
33-890型(別売品)

現金標準価格12,400円



華やかにスタート！ KOBE 七福神めぐり

■開港120年記念をハッピーに



上右/土井芳子さんの音頭で乾杯 上左/七色鮮やかに勢揃いした七福神の社寺 下右/井上和世さんの熱唱 下中/御神楽の奉奏 下左/須磨琴の奉奏

本誌4・5月号で掲載され、市民からの問合せも相次いでいた神戸七福神めぐりが、6月23日(火)神戸生田神社社会館で発足、待ちに待った宝船の船出となった。

七福神はそれぞれ、福祿寿尊が須磨寺、恵比須神は長田神社、毘沙門天が湊川神社、弁財天は生田神社、大黒天は大龍寺、布袋尊は天上寺、寿老人が念仏寺と、神戸の七つの社寺が集まっているため、式典も神と仏の共存の形式。生田神社からは御神楽、須磨寺からは須磨琴の奉奏で、厳肅な中にも華やかさある式典となった。引き続き続いて奉賛会創立総会。理事長の奥村孝氏が、奉賛会創立に至るまでの経過報告を行ない、石野信一氏は会長就任の挨拶で「神戸市、兵庫県、商工会、観光協会他、皆様の協力で、魅力ある観光名所になるよう支援したい。」と述べた。具原俊民兵庫県知事と宮崎辰雄神戸市長からも「他所にはない神戸らしいモダンな七福神めぐりに」とお祝いのメッセージが贈られた。七福神を描いた中西勝画伯、アート・ディレクターの石阪春生画伯、文字を担当した書道家の望月美佐各氏には、七福神会から感謝状が贈られた。又、井上和世さん(大龍寺井上仁性住職長女)による歌曲の披露もあり、神戸七福神にふさわしい門出となった。

岸野会長から 山田新会長へ

■三宮センター街の新旧会長歓送迎会



新旧連合会長歓送迎会でご苦労さまと岸野前会長（右）へ記念品を贈る山田新会長<写真提供神戸新聞社>

十四年間の長期にわたる三宮センター街商店連合会の岸野利男会長から、山田六郎新会長へのパトントッチの歓送迎会が、生田神社会館の四階ホールで開かれ、約二七〇人が集った。

テニスと三宮の夜を愛したタフな岸野会長も、心筋こうそくで倒れて療養してから、永年勤めた会長職を退くことを決意。この日を迎えることになった。「三宮の市街地再開発による三宮センター街の動乱の時節を担当し立派な日本一の商店街に生まれ変わったことに感慨もひとしおです。新会長へパトントッチをいたしますので今後ともよろしく」とあいさつ。会場も岸野前会長にご苦労さまと拍手が贈られた。

出席者は、三木真一兵庫県副知事をはじめ、神戸市助役の宮岡寿雄・笹山典昭両氏、石野信一神戸商工会議所会頭、神戸市商店街連合会会長の安保信太郎さんら多様な顔ぶれ。新会長の山田六郎氏は、長年前会長の補佐役をつとめ、新しい感覚で、昨年のニューヨーク五番街との姉妹提携にも関わった実行派。「一応、市街地開発によるハード面も終り、いよいよこれから買いやすい愛される神戸の表玄関の商店街として、ソフト面を充実して、新しい感性の街に」と意欲的な姿勢。新会長への期待は大きい。

北野だより-1-

7月10日、オランダ総領事館主催 の展覧会開かれる!



左上/(右より)オーナー夫人、ナラさん、ルイザ・ファン・ハーレンさん、松下電器顧問ソファーズ氏、黒田オーナー、オランダ大使館公使、田中教諭、鈴木正治名誉館長、山崎広島大学名誉教授 中上/祝辞を述べるJ・H・Aレイデッカーズオランダ総領事 右上/黒田オーナーを囲んで(右より)パウマンドイツ総領事、鈴木名誉館長、ポルトドイツ領事夫妻 左下/オランダ総領事の案内で絵を見るマリオン・ベニング夫人 中下/ルイザ女史と総領事 右下/異人館ガールと談笑

078 (261) 3330

■開催日 ■
昭和62年7月10日〜9月15日
■開催時間 ■
午前10時〜午後6時(年中無休)
■主 催 ■
オランダ総領事館
■場 所 ■
神戸北野公開異人館
(香りの家 オランダ館)
神戸市中央区北野町2-15-10
旧ヴォルヒン邸

神戸・北野の「香りの家オランダ館」に於いて、7月10日、「ルイザ・ファン・ハーレン展」の開催を祝うレセプションパーティが開かれた。ルイザ・ファン・ハーレンさんはオランダの女流画家であると同時に、在日オランダ大使館公使夫人でもあり、当日は夫君やJ・H・Aレイデッカーズオランダ総領事をはじめパウマンドイツ総領事他各国領事館関係者、文化人の方々など多数の出席があった。「今日は言葉ではなく、絵を通して皆さんに気持ち伝えたい」とヴァン・ゴッホに憧れる夫人からの挨拶と総領事の乾杯の音頭、そして黒田オーナーと通訳のナラさんとの軽妙な司会で、和やかにパーティは始まった。

館内のごとくところには、彼女の描くオランダの風俗、風景画や静物画が飾られ、女性独特の繊細で幻想的な画風が見る人の目を魅きつけていた。なお、この「ルイザ・ファン・ハーレン展」は、9月15日まで開催される。

Summer Fashion Special

つけ方、いろいろ。
アクセサリは
おしゃれのスパイス。

ベスト・インターナショナル 村上 好子

街中に華やかな色や柄のドレスが多くなる夏。強い日射しに負けないように、アクセサリも大胆なデザインが多くなります。手に取ってみるだけでは、「少し派手かしら」と思うようなプラスチック素材のカラフルなイヤリングやネックレス。案外つけてみると顔に馴染んで抵抗なくつけられます。とにかく自身をもってつけて頂くことが一番ですね。

またこれからのシーズンにはゴールド使いで落ちついたものが多くなりますが、人それぞれ個性に合わせて選んで下さい。ラインストーンやエナメル七宝との組合せなどカジュアルな雰囲気を取り入れても楽しいですね。アクセサリというのは最終的なおしゃれ、いわば最後にふりかけるスパイスのようなものです。つけ方のアイデアひとつで、同じ洋服を、違ったイメージで装うことができるのですから。今年の秋は神戸ファッションにあわせて、自分らしいアクセサリの使い方に挑戦してみてください。

ROYAL SALON





新館5F

 **SOGO**
SANNOMIYA KOBE

ブローチ(ビエロ) ¥58,000 (貝殻) ¥37,000 イヤリング(貝殻) ¥37,000
ネックレス ¥78,000 イヤリング ¥37,000



神戸開港120年記念シリーズ
—近代洋風建築を訪ねて—



チャータードビル

PHOTOGRAPH BY
HIROTSUGU TAKAHASHI

海岸通の古いビルの中で、最も質の高い建物の一つである。外装は北木御影で施工されているが、そのディテールは精緻であり、保存状態も良い。特に目につく位置の波型紋様の浮彫は、日本的なデザインであり、要所に配された彫刻もまた古典的な手法でまとめている。西南の隅の腰廻りの面取りは、小さくあでやかである。玄関を入ると黒蛇紋石で緻密に彫られた扉枠の飾柱は、ルネッサンス風の正確なコピーで華麗である。全体的なバランスの良さや、このディテールを見ると、かなり老練な建築家の作品であることがわかる。小品ながら戦前の最後の名建築だ。一口で言うなら、英国の可愛い貴婦人と評したい。

前田 和穂

〈建築家・神戸建築技術研究所主宰〉



昭和13年竣工、鉄筋コンクリート造4階建。ルネッサンス様式の建物で正面中央にはイオニア式の円柱が2層の高さに3本並ぶ。入口が両端部にあるのが特徴。

KOBE EXCELLENT SHOP

★婦人帽子

maxim
マキシム

神戸市中央区北長狭通2丁目6-13 ☎331-6711

★伝わる真ごころ手づくりの風格

柴田音吉洋服店

神戸市中央区元町通4丁目2-22 ☎341-0693

★舶来品 ブティック

マスターニュートン

神戸市中央区北長狭通3丁目12-14 ☎331-1818

★本格派の人々に愛される

ヨシオカ

神戸市中央区三宮町3丁目1-9 ☎331-5190

★よろず御機衣縫上處

神戸シャリ

神戸市中央区三宮町3丁目1-6 ☎331-2168

★選りすぐった一点を…。

Sanohe

神戸市中央区元町通2丁目5-7 ☎331-4707

★世界のチョコレート

一番館

神戸市中央区元町本通1丁目8-5 ☎391-3138

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

神戸市中央区三宮町3丁目1-4 ☎391-3737-9

★世界のオシャレをお届けする

ウネ

神戸市中央区元町通1丁目4-13 ☎331-3112

※このシリーズは上記9社の専門店
の提供によるものです。





2階客間にて。モデル——「E/H/TIQUE」お客様、辻村貴美子さん。カーディガン ¥19,000 スカート ¥14,000/いずれもE/H/TIQUE。



異人館……山手八番館

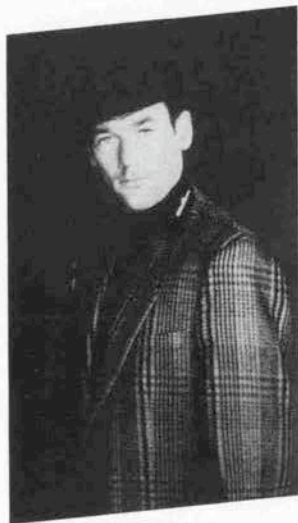
明治中期に外国人向けの借家として海岸通りに建築され、その後いまの北野町に移築されました。その後、昭和59年にオリент美術館としてオープンし、中華人民共和国の作品物を展示していました。

現在は、別名「スペイン館」として、中世スペインのイメージで意外なアンチック調品、展示品などでいっぱい、エキセントリックな異人館です。



さんちか店 (078) 321-4545
 宝塚ファミリーストア店 (0797) 73-5359
 千里阪急地下街店 (06) 831-0756
 須磨パティオ店 (078) 792-5652
 加古川店 (0794) 25-5514
 E / H / T I Q U E (078) 331-0950

優しさのダンディズム



左より大橋恵子さん・ディノ・バラバーニ氏・高山東京店長

イタリアのミラノのそばにあるヴェイエラ。彼は、この町に紳士服地工場を土台に、布・形・縫製までトータルで自分自身のオリジナルティを追求して、パリで紳士服のブティックを成功させている。「セルッティ神戸」のオープンにパリからやってきたマネージャーのディノ・バラバーニ氏は、「新幹線で神戸に降りて北野町界隈を歩いて、いろいろブティックを観たけれど、静かで清潔でいい町だ。港が見える緑豊かなこの界隈で佛欄西料理を食べたけれど、ここに住む人達は「人生の楽しみ」を知っている街だと感じた。ここはいい店もあるしファッションの質も進んでいる。」

セルッティは、ディテールの細部にも凝った「創意ある古典性」若々しく、カジユアルだけどシックな服で、この町の感性に合うと思いますよ。」とパリジャンらしいコメントだった。

秋冬物は9月から登場する。

北野の坂道で出会ってみたい「いい男」。そう。優しさのダンディズムを感じるような。リンズギヤラリーの1Fに、この6月からオープンした紳士服のブティック「セルッティ」。ここには、そんな男の匂いを漂わせたトータルな紳士ファッションの世界がある。ディノ・セルッティ。53才。

Nino Cerruti



美しい歩きかた



新谷佳冬

〔バレリーナ
芦屋バレエ・アカデミー主宰〕

「阪神間ほど住み心地のよい和やかな土地はないように感じられる」（『細雪』より）そう言ったのは谷崎潤一郎でしたが、同じ思いをいま肌身に感じるのは、育った芦屋からしばらく離れていたせいかもしれません。

留学先だったロンドンのように、自然と人とがほどよく調和して、仲良く暮らしている町。と、帰国して五年が経ちますが、日を追うにつれて、美しい町なのだを意識するようになりました。けれど、せっかくの美しさなのにと残念に思っつのは、女性の歩く姿といましようか……。

といいますのも、実は、ロンドンの「ロイヤル・バレエスクール」では、テクニクはもちろんです。まずお辞儀の仕方を教えられたのです。美しいお辞儀、美しい歩き方、美しい会話というように。

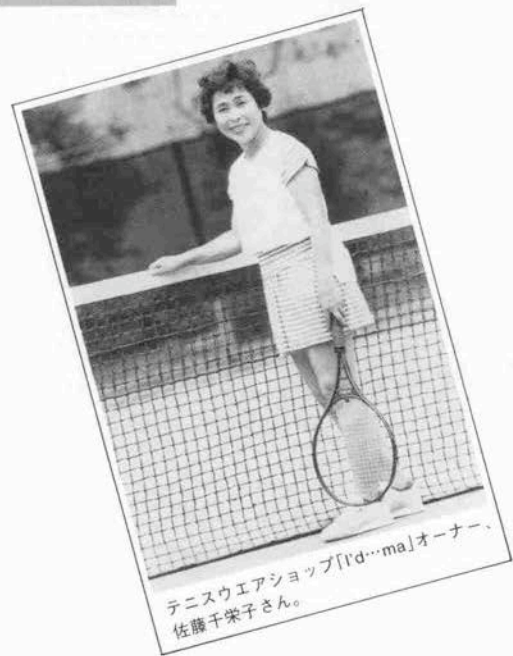
ところが、せっかく身につけた筈の美しいお辞儀、美しい歩き方……。帰国すると何だかギクシヤクシヤした感じがするのです。どうしてだろ？ そんな疑問も数年が経って色あせ、いつの間にか気にもとめなくなっていたある日……。滴翠美術館のレッスン場からの帰り道で、あの「リーボック」のシューズを見かけたのです。

それは、ロンドンでの生活で、評判を聞いていたブランドでした。百年ほどの歴史もある筈です。

普段から、本物と触れ合っていること。そのポリシーで生徒さん達に、チュチュ、トウシューズなど、英国製を着用して貰っているのに……。その上、バレエにとっては何よりも足が大切です。



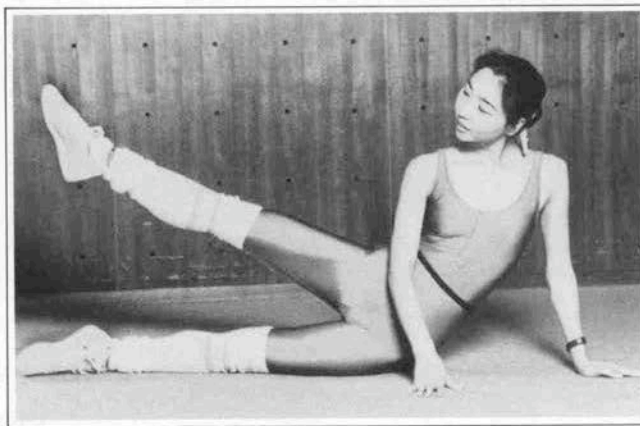
日本で最初のリーボック専門店、阪急芦屋川駅東側「ギャラリーアデッソ」の1階にあります。



テニスウエアショップ「rd...ma」オーナー、
佐藤千栄子さん。



芦屋バレエアカデミーの生徒、宇賀典子さん
(左)と弟の英夫さんもリーボックのファン。



筆者・新谷佳冬さん。優れたクッション性、フィット性は、激しいエアロビクスで衝撃を受けやすい足をしっかりと保護してくれる。

「リーボック」のシューズは、テニス、エアロビクス、ランニング、ウォーキング……と、スポーツにもカジュアルにも、種類も増えています。足を優しく、そしてしっかりと保護してくれるシューズ。美しく歩くために、私はそれ以来、レッスン場への行き帰りに「リーボック」を愛用しているのです。